

ひと 女と男

パートナーシップ

企画課 男女共同参画推進係 ☎72-2111 内線222

今回は「第25回福岡県女性研修の翼」に参加された中嶋恵子さん(古賀)のレポートです。



ジュネーブ(スイス)の街にて

流の中で、私が小郡市で関わっている男女共同を軸にした「女性再チャレンジ支援事業」のことを話した時には強い関心を示され「そういう情報こそ、私たちが欲しかったことだ」

私たちは「第25回福岡県女性研修の翼」は、福岡県より海外研修の命を受けて、2008年10月19日、深まりゆく秋の日曜の早朝、福岡空港からヘルシンキ経由でベルギー、スイス8日間の旅へと飛び立った。

旅にハブニングはつきものとはいえ、出発の時点から1時間以上も遅れ、そのために、団体で荷物を抱えながら他国の空港内を走りまわり、乗り継ぎ、乗り継ぎを行ってスイスのジュネーブに着いたのは深夜12時だった。

その朝には、ジュネーブの「男女平等促進センター」を訪ね、男女共同参画のスイスでの取り組みの現状について話を伺った。対応してくださったのはミユリエル・ゴレイさんという40歳代の女性副所長だった。

日本人女性の通訳をつけての約2時間半の話の構成はすばらしく、事前にこちらの聞きたい話の要望は具側を通して伝えられているとはいうものの、初めて目と耳にする私たち訪問者にスイスの事情を分かりやすく語ってくれた。下ごしらえをきちんとされていたの

「第25回福岡県女性研修の翼」で、飛んでみて感じたこと
～スイス、ベルギーでの8日間の研修～

決」に向けて、シングルマザーのこと、男女間賃金格差、ワークライフバランス、DVの問題など、解決に向けて学ばべく、ヨーロッパ諸国の現状をもっと知りたかったのは事実だ。そのために行われた事前と事後の研修も大切なものであったが、やはり「百聞

は一回に見ても、個人的な観光旅行等ではとても足を踏み入れることのできないILO(国際労働機関)や環境問題などで進化する「COOP」を訪ね、日本との違いを見せつけられたりもした。ベルギーでは、EU欧州連合本部や女性科学者たちの働く現場「Biodiversity Women's Science」を訪ね、キュリー夫人の時代とは違う新しい女性科学者像をみせてもらった。



COOP(スイス)視察

今回、私が海外研修に赴けたのは小郡市の男女共同参画の審議委員を7年前の発足当時から務め、小郡市女性再チャレンジ支援事業の運営にたずさわっており、そして福岡県の「あすばる男女共同参画フォーラム2008」の実行委員長であったことなどが深く関わっていると思う。「女性たちが抱える困難の解決」に向けて、シングルマザーのこと、男女間賃金格差、ワークライフバランス、DVの問題など、解決に向けて学ばべく、ヨーロッパ諸国の現状をもっと知りたかったのは事実だ。そのために行われた事前と事後の研修も大切なものであったが、やはり「百聞

と、目に力を入れて私を見つめたミユリエルさんの表情は今でも忘れられない。

そのあとも、個人的な観光旅行等ではとても足を踏み入れることのできないILO(国際労働機関)や環境問題などで進化する「COOP」を訪ね、日本との違いを見せつけられたりもした。ベルギーでは、EU欧州連合本部や女性科学者たちの働く現場「Biodiversity Women's Science」を訪ね、キュリー夫人の時代とは違う新しい女性科学者像をみせてもらった。

文化や福祉において先進国といわれるヨーロッパの空気に触れ、学んだことを心からの声で周りに伝え、すでに翼で飛んだ先輩諸氏たちと、男女が共に力と知恵を出し合い、行政と家庭と地域社会、そして教育現場が一体となつて、明るい希望に満ちた小郡市になれるよう、ひとつづき、まちづくりに積極的に参加していきたいと思っている。

どんなに和の多いヨーロッパの国々にも関わらず、陽気にあいさつを交わし、花束を持って家路に向かう男性の姿は、そのま

は一見に如かず」で、行って、見て来るに勝るものはない。嬉しかったのは、8日間の留守中、夫と息子、詩集本を出版するため帰国していた娘が、寄り添って家事を営んでくれたことだ。また、2年前、学生時代から過ごした東京を引き揚げ、今、故郷小郡に生きることを決めた息子は、フォーラムサポーターとしてもボランティア参加、いい働きをしてくれた。いい息子さんですねと言われるたびに、男女共同参画を地道に訴えてきた年月が決して無駄ではなかったことをしみじみ感じさせられた。

私にこうした機会を与えてくださった方々に感謝します。そしてまずは、研修の成果報告を2月7日に福岡、11日に北九州、21日にわが筑後地域(筑後市サンコア 午後1時30分)にて発表します。

文化や福祉において先進国といわれるヨーロッパの空気に触れ、学んだことを心からの声で周りに伝え、すでに翼で飛んだ先輩諸氏たちと、男女が共に力と知恵を出し合い、行政と家庭と地域社会、そして教育現場が一体となつて、明るい希望に満ちた小郡市になれるよう、ひとつづき、まちづくりに積極的に参加していきたいと思っている。



ブリュッセル(ベルギー)市役所